

日本内分泌学会における診療報酬改訂への取り組みについて

平成21年8月24日

日本内分泌学会理事長 森 昌朋
日本内分泌学会理事 成瀬光栄

会員各位

内分泌代謝疾患診療における診療報酬の向上は会員の先生方の診療の正当な評価のため、学会として極めて重要な課題であると認識しています。このため日本内分泌学会では現在様々な取り組みを行っていますので、簡単にご紹介します。

ご意見、ご要望がありましたら内分泌学会事務局までお願いします。

1. 内科系保険連合会(内保連)を通じた活動

- ◆保険委員長 成瀬光栄、保険委員 辻野元祥(都立府中病院)
- ◆診療報酬付与可能な医療技術の提案(2年かけてとりまとめて提案)
- ◆担当部署 保険局医療課

2. 未承認薬・適応外薬の承認の要望書提出

- ◆平成21年8月24日 合計15医薬品に関する要望書を提出済み
- ◆担当部署 医政局研究開発振興課・医薬食品局審査管理課

3. MDC10作業班からの提案

- ◆班長 成瀬光栄(内分泌学会)、渥美義仁(糖尿病学会)、伊藤公一(内分泌外科学会)
内分泌学会MDC10班員 平田結喜緒、大村昌夫
- ◆MDC(Major Diagnostic Caterogy、主要診断群)、16班に分類され、内分泌代謝疾患はMDC10作業班。DPCの基本となる診断群分類の「妥当性」を検証、2年毎の改訂に向けた提案
- ◆平成22年度DPC改訂に向けて提出した要望と回答の現状(別紙参照)
- ◆担当部署 保険局医療課

